



芸術文化観光専門職大学
Professional College of Arts and Tourism

東近江市博物館構想について

ぶんぱく在り方検討委員会

2024年12月13日

藤野一夫

滋賀県東近江市の文化・環境政策



- 2005~6 1市 6 町が合併
- 人口約11万3,000人
- 市域の56%が森（鈴鹿の森）
- 合併により市立6, 県立 1 民間5, 合計12の博物館
- R.2.3 東近江市100年の森づくりビジョン
- R.4.10 エコツーリズム推進全体構想
- R.5.3 東近江市博物館構想
- R.6.7 同文化芸術振興計画
- R.6.9 同「森の文化博物館」基本計画

博物館構想の基本理念

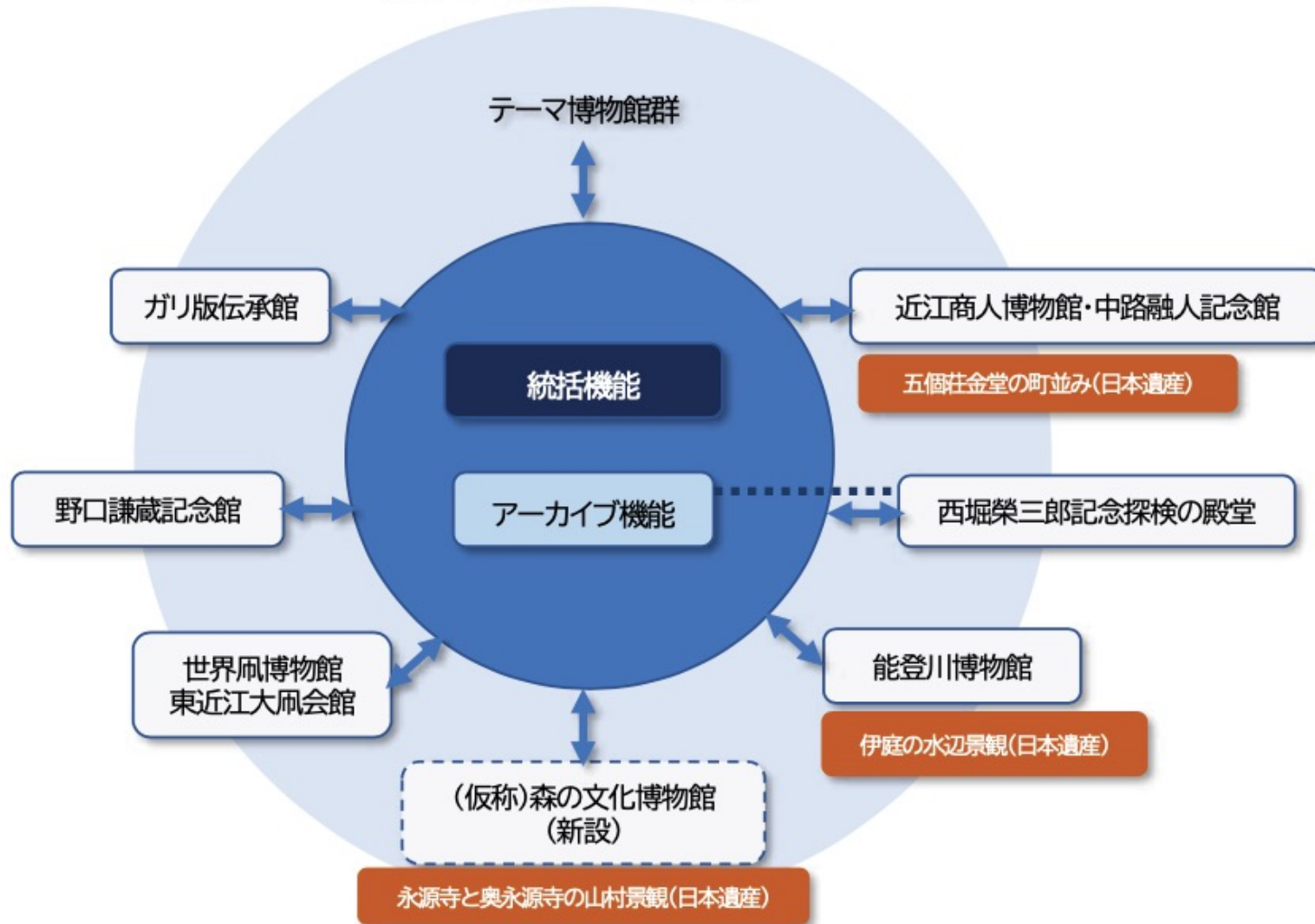
人を育み、人をつなぎ、未来を創る博物館

東近江市の博物館は、鈴鹿山脈から琵琶湖まで広がる多様な自然の中で培われ、守られ、継承されてきた先人たちの生き様と知恵を市民と共に探求し、普遍の価値を共有し、更に世界に広げることを目指します。

そして展示や学習プログラムなどの事業を通じて、東近江市の未来を担う人を育み、人をつなぎ、未来創りに貢献します。

地域資源を生かした市立博物館の総合的な博物館化

総合的な博物館と地域資源



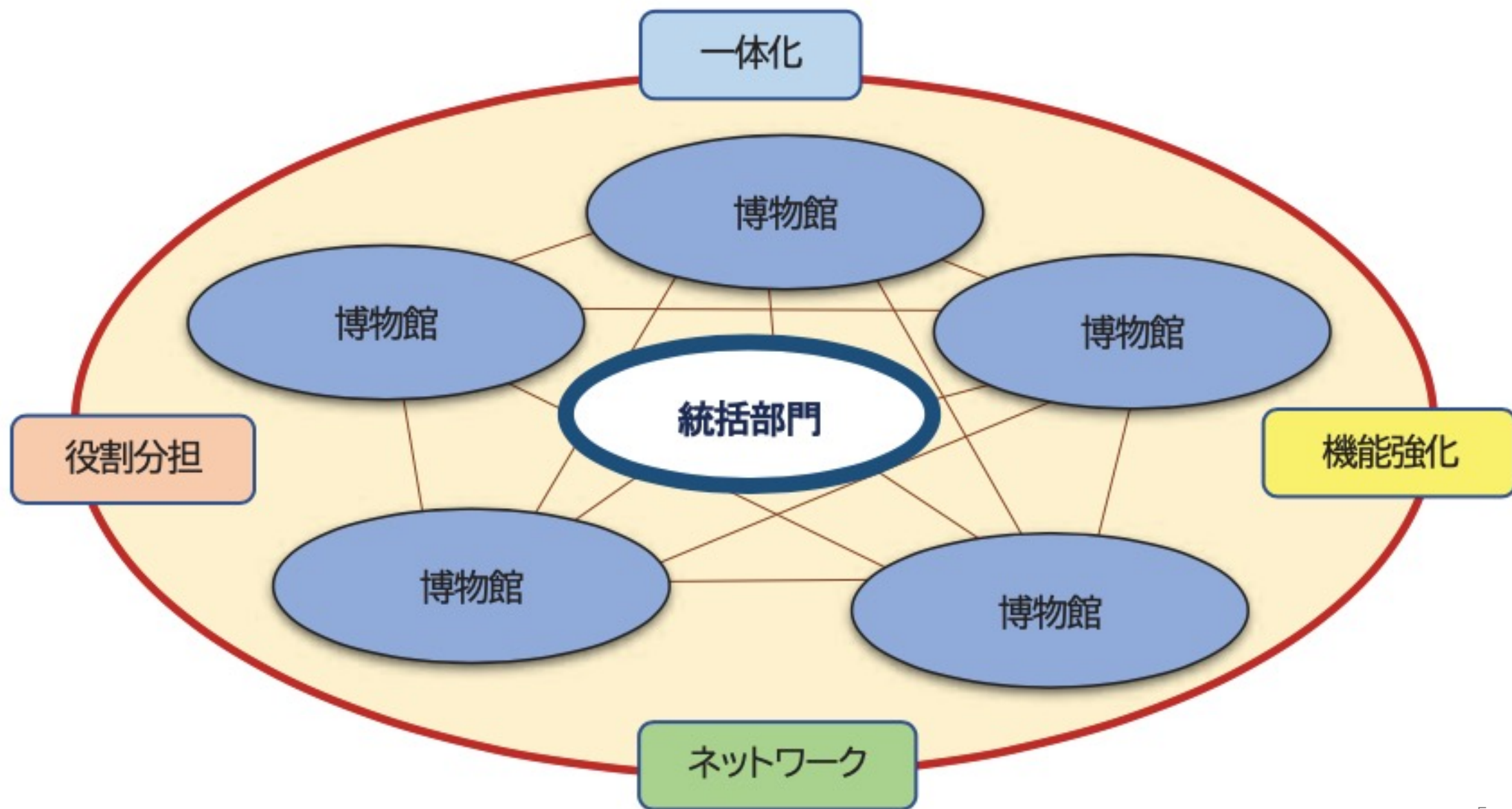
- 市立博物館をより魅力的で多くの人が訪れる施設にするためには、複数の館とそのスタッフが同じ理念の下で一丸となって活動を進めることが重要。

①市立の6つのテーマ館を統括する組織を設置し、各テーマ館全体を見渡した企画運営やコーディネートを行う。

②アーカイブ機能を強化することで、市全体の資料を総合的に管理し、総合博物館のデータベースとして提供する。

③(仮称)「森の博物館」を新たに整備することで、これまで不足していた森の文化の調査研究や情報発信に取り組む。

【多様な博物館の再編の方針】



東近江市（仮称） 森の博物館の基本理念

1 基本理念

東近江市博物館構想及び第Ⅱ章で示した森の文化博物館の在り方や博物館像を踏まえて、次の基本理念を設定する。

森に学び 共に生きる

森の文化博物館では、森里川湖が一つの水系でつながる本市の特色をいかした事業や本市博物館群と連携事業を実施することにより、地域、人、地域資源が一体となった活動を進め、鈴鹿の森の魅力や価値を見つめ直し、未来に向けて森と人が共生する社会を創出していく。

【多様な地域資源のイメージ】



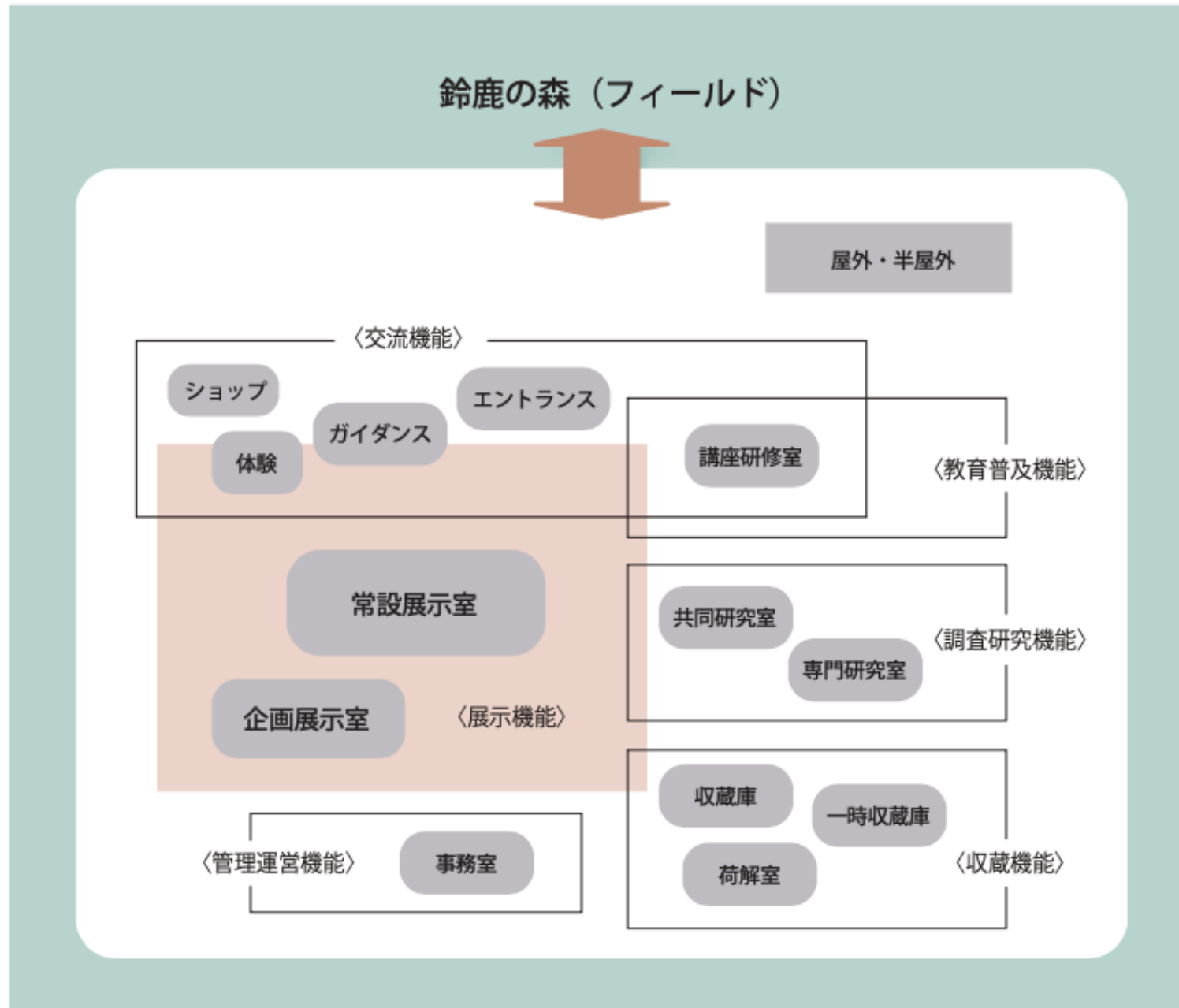
鈴鹿の森の魅力が集まる地域で

【
出会うもの
体験するもの
感じるもの
】

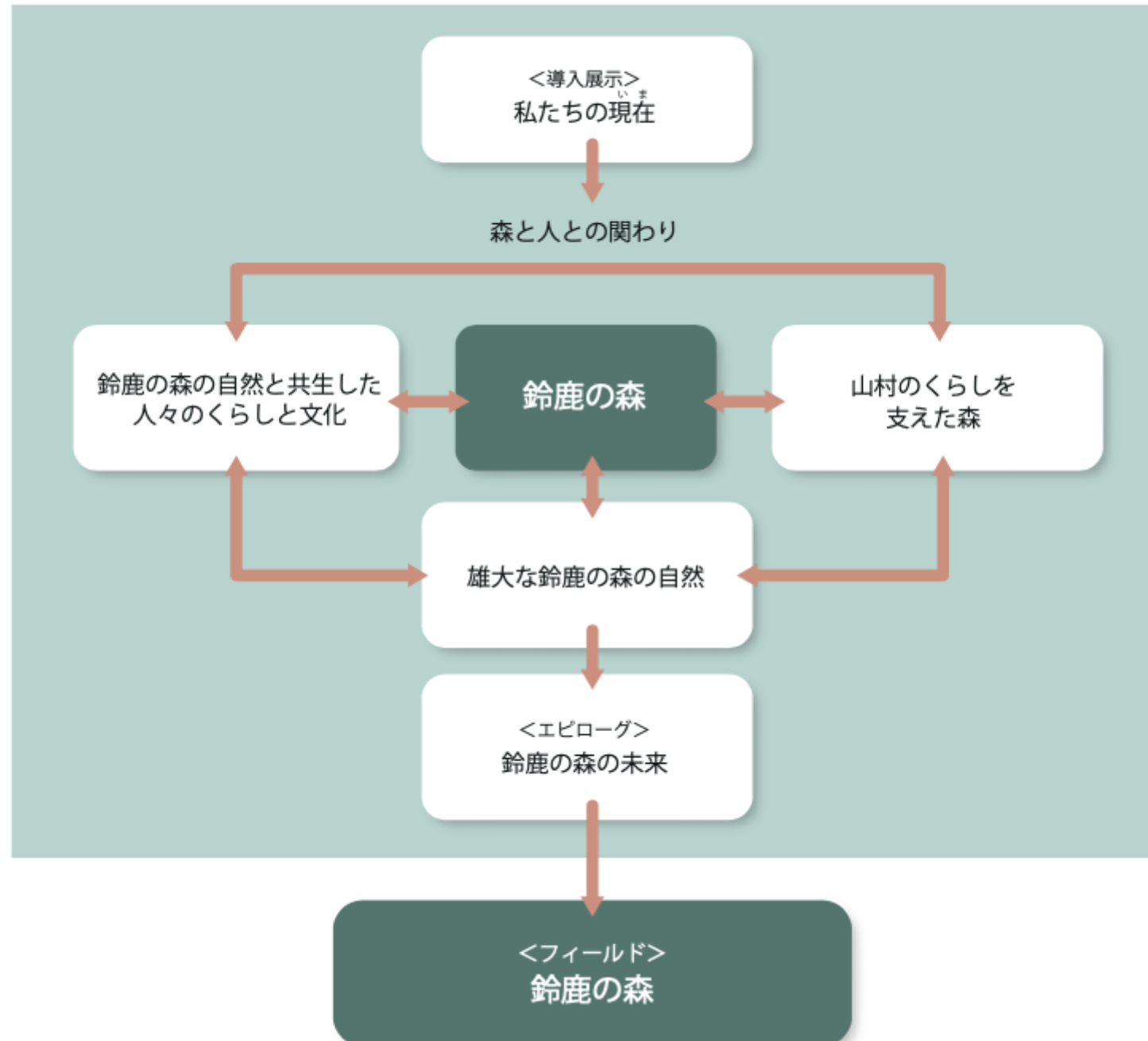
すべてが博物館



【施設構成イメージ図】



【基本的な展示構成のイメージ】



東近江市博物館構想からインスパイアーされた 「ぶんぱく」の基本理念（藤野私案）

文化多様性と生物多様性を架橋した探求を通じて
持続可能な共生社会に貢献する未来の総合博物館